

卒業論文・要旨の電子データ保存・利用について

南山大学人類文化学科では、みなさんが作成した卒業論文を学科で保存・管理し、下記ガイドラインに基づいて運用する体制をとっています。

内容をご確認いただき、卒業論文・要旨の電子データを提出する時に、別紙の「保存・開示同意書」を添付して提出して下さい。

卒業論文の作成に取り組む後輩学科生にとって、皆さんの卒論と要旨が貴重な資料であることをご理解の上、本学科における卒論の保存と利用にご協力いただきますようお願い致します。

1. 卒業論文と要旨の保存・閲覧

- ・卒論・要旨については、電子データの提供を求める。
- ・電子データは、保存用と閲覧用に作成するが、氏名開示に同意が得られなかった場合は、氏名非公開とする。
- ・要旨については、学生番号・氏名を開示せず、卒業論文要旨集ファイルにまとめ在学生の閲覧に供する。

2. 保管と管理責任

- ・卒業論文・要旨は、人類文化学科合同研究室に保管され、その保管責任者は人類文化学科長とする。

3. 閲覧と利用

- ・卒業論文の利用は、原則として学科在学生の研究の目的に限定する。
- ・閲覧できるのは、原則として在学生、教員とする。
- ・閲覧は、人類文化学科合同研究室のパソコンを使用することとする。
- ・卒業論文の題目については、学科 HP、人類文化学科新生ガイダンス資料などに公開する。

4. 廃棄の時期

- ・電子データは可能な限り保存するものとする。